

NO40前提(夏ねぎトンネル)

40	白ねぎ(夏・砂地・トンネル)
----	----------------

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	白ねぎ(夏・トンネル) 10a、白ねぎ(夏・普通) 20a、白ねぎ(秋冬・普通) 20a、白ねぎ(秋冬・遅出し) 20a、白ねぎ(春・一本) 20a、白ねぎ(春・坊主知らず) 10a、緑肥50a
自家労働	2.5人
その他	

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目													○
2年目													○

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f) × (G) × 利率
作業場	木・瓦	30 m ²	1,890,000	10	189,000	189,000	15	12,600	8	88,200	100	3,528
収納庫(車庫)	木・瓦	30 m ²	1,890,000	7	126,000	126,000	15	8,400	8	58,800	100	2,352
パイプハウス	6m×15m	1 棟	441,720	11	49,080	49,080	14	3,506	7	24,540	100	982
トラクタ	4WD, 25ps	1 台	2,016,000	7	134,400	134,400	7	19,200	4	57,600	100	2,304
ロータリ	160cm幅	1 台	400,050	7	26,670	26,670	7	3,810	4	11,430	100	457
管理機	6ps	1 台	304,500	10	30,450	30,450	7	4,350	4	13,050	100	522
管理機(堀取り)	3.5ps	1 台	194,250	10	19,425	19,425	7	2,775	4	8,325	100	333
皮剥機一式	1セット(3相電)	1 台	567,000	10	56,700	56,700	7	8,100	4	24,300	100	972
移植機(1条植)	1 台	1 台	1,009,050	11	112,117	112,117	7	16,017	4	48,050	100	1,922
動力噴霧機	6ps, 可搬式	1 台	241,500	10	24,150	24,150	7	3,450	4	10,350	100	414
エンジンポンプ	1セット	1 台	180,765	10	18,077	18,077	7	2,582	4	7,747	100	310
エアコン	配線込み	1 台	150,000	10	15,000	15,000	7	2,143	4	6,428	100	257
剪葉機	1 台	1 台	312,900	11	34,767	34,767	7	4,967	4	14,900	100	596
軽トラック	4WD, 5MT	1 台	850,000	7	56,667	56,667	4	14,167	2	28,333	100	1,133
合計			10,447,735		892,502	892,502		106,066		402,054		16,082

NO40技術(夏ねぎトンネル)

技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
白ねぎ	羽緑一本太	夏ねぎ (トンネル)	2, 7 0 0 kg	排水良好地	1 0 a

項目	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬~月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間		燃 料 消費量 (ℓ/10a)	
作業名						機械利 用時間	組 延労働 人員 時 間		
<トンネル> 苗準備	1 0 上	セル成型トレイ (200穴) ネギ用培土 マイクロロング 水稲育苗箱	55枚 180ℓ 1, 800g 55枚	人力	培土とマイクロロングを混和 (窒素量の調整)		1	4.0	
播 種	1 0 上	コート種子 覆土材 播種板、鎮圧ローラー	44, 000粒 75ℓ	人力	1 穴 4 粒播き 播種時の灌水はたっぷりやる		1	8.0	
育 苗	1 0 上~1 2 上	シルバーポリ 黒色寒冷紗 ダコニール1000	10m 30m 150ml	人力 人力 エンジンポンプ 剪葉機 人力	ビニルハウス内に育苗箱を設置 高温による焼け防止のため、シルバーポリ で被覆し、その上に黒色寒冷紗を厚めに トンネルし、遮光する 出芽後、全て被覆を除去し、薬剤処理 かん水過多による過湿に注意 苗の葉先を切り、倒伏防止 (計3回) 育苗中は常に換気に努める		1	21.0	ガソリン 18.0L
本ほ土壤消毒	1 0 中~1 1 上	デイトラベックス油剤	30L	トラクタ ロータリー 土壤消毒機	耕耘 土壤消毒機で薬剤注入 2~4週間後にガス抜き	1.0 2.0 1.0	1 1 1	6.0	軽油 9.0L ガソリン 2.0L
基肥施用	1 1 中~下	タイフミン 高度苦土石灰 BM重焼リン はまグリーン	3, 000kg 80kg 20kg 30kg	軽トラク トラクタ ロータリー 人力	堆肥、土壤改良材 耕耘	5.0 2.0	1 1	12.0	ガソリン 5.0L 軽油 9.0L
定植	1 2 上			管理機 全自動移植機 人力	植え溝 セル間隔9 c m で定植 補植	0.5 3.5	1 1 1	6.0	ガソリン 4.0L
トンネル管理	1 2 中~3 下 2 上 3 末	支柱 ポリフィルム	200本 1.5m×1000m	人力 人力 人力 人力	トンネル被覆、換気穴 積雪時の雪かき作業 トンネル開閉 (雨に当て、乾燥防止) 曇天時または降雨直前に除去		2 1 2 1	48.0	
追肥	1 2 上~5 中	スーパー I B s222 燐硝安加里s552 有機はま1号 硫加	30kg 20kg 100kg 15kg	人力	追肥①定植時、活着後 追肥②定植2ヶ月後 追肥③定植3.5ヶ月後 追肥④定植4ヶ月後 追肥⑤最終土寄せ時状況をみて		1 1 1 1 1	5.5	
土寄せ	3 下~5 中			管理機 人力	4 回 止め土	12.0	1 2	16.0	ガソリン 12.0L
防除	1 2 上~6 上	トップジンM水和剤 フォース粒剤 ロブラル水和剤 スミレックス水和剤 ジマダ イソ水和剤 ウララDF ハチハチ乳剤 モンカットフロアブル4 アミスター20フロアブル ワリオラホ 顆粒水和剤 ミックスパワー	110g 4 kg 150g 300g 500g 75g 150ml 75ml 75ml 150g 350ml	人力 人力 動噴 軽トラク 人力 人力 人力 人力 人力	①定植前育苗箱灌注 ②定植前土壤混和 ③2月トンネル開放時: ロブラル水和剤1000倍 ④トンネル除去後: スミレックス水和剤1000倍 ⑤ジマダ イソ水和剤600倍+スミレックス水和剤 1000倍 ⑥ジマダ イソ水和剤600倍+ウララDF2000倍+ハチハチ乳 1000倍、モンカットフロアブル40 (株元散布) ⑦病害発生状況をみて	2.0 2.0 2.0 2.0 4.0 2.0	1 1 1 1 1 1 1 1	13.0	ガソリン 12.0L
除草管理	1 2 上~4 上	ゴーパーサン乳剤30 又はクレマート乳剤	300ml	動噴 人力 人力	定植後除草剤散布 2 / 上トンネル解放時手取り 4 / 上トンネル除去後手取り	1.0	1 1 1	18.0	ガソリン 1.0L
収穫・抜き取り 梱包	6 上~6 末	便利クロス (コモ)		堀取り管理機 人力	畝崩し 抜き取り・枯葉除去・コモ包み	4.0	1 1	43.8	ガソリン 4.0L
積み込み・運搬	6 上~6 末			軽トラク	積み込み・運搬	9.9	1	9.9	ガソリン 10.0L
調製・箱詰め	6 上~6 末	段ボール 結束テープ クワテープ 規格テープ 規格シール	900箱	人力 皮はぎ機 人力・結束機 人力 人力	根葉切り 皮はぎ・荒選別 選別・結束 箱作り 箱詰め	100.0	1 1 1 1 1	315.0	電気440kw
出荷	6 上~6 末			軽トラク	集荷場へ運搬	12.0	1	12.0	ガソリン 12.0L
残さ処理	6 上~6 末			軽トラク・人力	運搬、適切に処理	6.0	1	6.0	ガソリン 6.0L
片づけ	7 上			トラクタ	耕耘	2.0	1	2.0	軽油 9.0L
合 計								546.2	

経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	1,201,500	生産量①: 2,700 kg 単価②: 445 円/kg	
	主産物価額	0	生産量 :	
	主産物価額	0	生産量 :	
	副産物価額④	0		
	計 (A)	1,201,500		
生	生産原価	種 苗 費	31,689	
		肥 料 費	61,215	使用資材等は技術体系のとおり
		農 薬 費	57,917	"
		諸 材 料 費	55,022	"
		動力光熱費	32,406	
		農 具 費	21,587	機械負担価額×4%
		建物等修繕費	4,451	建物・構築物負担価額×1%
		賃 料 料 金	1,300	
		共 済 掛 金	303	
		雇 用 労 賃	0	
		減価償却費⑤	106,066	別表のとおり
		土地改良費	1,275	
		支払地代⑥	2,880	
		小計 (B)	376,111	
費	販売費一般 管理費	出荷資材費	66,234	
		販 売 諸 費	244,994	
		諸税負担金	2,899	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	3,707	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	0	借入資本利子率2%
		小計 (C)	317,834	
経 営 費 (D)	693,945	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	697,970	農 従 労 働 時 間 : 536.3 生産管理労働時間 0.6 1,300 円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	1,391,915	主産物単位当たり 516 円/kg 注) (E) = (D) + ⑧ - ④		
自己資本 利子(F)	流動資本利子⑨	25,717	注) ⑨ = ((E) - ⑤ - ⑦) / 2 × 0.04	
	固定資本利子	16,082	利子率4%	
自 作 地 地 代 (G)	4,320			
全算入生産費 (H)	1,438,034	生産物単位当たり 533 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	507,555	時間当たり 945 円 注) (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	42	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	-236,534	注) (K) = ③ - (H)		
家族労働報酬 (L)	461,436	時間当たり 859 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	-190,415	注) (M) = (I) - ⑧		

